

開館日カレンダー 2023年10月～2024年3月までの予定

10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4						1	2
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23
29	30	31					26	27	28	29	30			24	25	26	27	28	29	30
														31						

1月							2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6					1	2	3						1	2
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	3	4	5	6	7	8	9
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	10	11	12	13	14	15	16
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	17	18	19	20	21	22	23
28	29	30	31				25	26	27	28	29			24	25	26	27	28	29	30
														31						

■ 休館日
 ■ 特別展「岡本玉水 人形芸術にかけた生涯」
 ■ 企画展「商家に伝わるお雛さま(仮)」
 ■ 展示室1・2(常設展)のみ開室
● 常設展示解説 午後2時～ ※申込不要、要観覧券
 ★ ワークショップ
 ◆ 特別展関連イベント
 ※特別展及び企画展会期中、「着物で岩槻」を開催します。着物で岩槻人形博物館に来館すると、観覧料が無料になります。

これからの展覧会

企画展「商家に伝わるお雛さま(仮)」

2024年1月27日(土)～3月24日(日)
 にんばく恒例の雛祭り展。今回は、当館のコレクションから、商家に由来する雛人形とその魅力を紹介します。商家を彩った華やかなお雛さまをお楽しみください。



(左) 御所人形 春駒 明治後期～昭和初期
 (右) 天野家雛段 (昭和初期の再現展示) 2021年撮影

【にぎわい交流館いわつき】

博物館に隣接する、にぎわい交流館いわつきでは、体験講座やイベント、カフェ・ショップでの食事や買物をお楽しみいただけます。(Tel.048-757-2981 / Fax.048-793-4074)
 ※イベント等の詳細は、ホームページをご覧ください。
<https://www.nigiwai-koryukan.jp/>



基本情報

- 【開館時間】** 午前9時～午後5時
※入館は閉館時刻の30分前まで
- 【休館日】** 月曜日(休日の場合は開館)
年末年始(12月28～1月4日)
※臨時に休館・開館することがあります。
- 【観覧料】** 一般: 300円(団体: 200円)
高校生・大学生・65歳以上: 150円(団体: 100円)
小学生・中学生: 100円(団体: 50円)
※障害者手帳をお持ちの方と、付き添いの方1名は半額になります。
※団体は20名以上。
※展覧会により観覧料が異なる場合があります。
※掲載資料のうち、特に表記がないものはさいたま市岩槻人形博物館蔵です。

インスタグラムで情報発信しています！



〒339-0057
 埼玉県さいたま市岩槻区本町6-1-1
 Tel.048-749-0222 Fax.048-749-0225
<https://ningyo-muse.jp/>
 IWATSUKI NINGYO MUSEUM NEWS Vol.06
 2023年8月発行 編集・発行: さいたま市岩槻人形博物館
 ※このリーフレットは20,000部作成し、1部あたりの印刷経費は約18円です。

◎交通案内
【電車をご利用の場合】 東武アーバンパークライン(野田線)「岩槻駅」から徒歩約10分
 ※大宮駅から岩槻駅までの所要時間は約12分です。
【車をご利用の場合】 東北自動車道「岩槻IC」出口から約5.5km、車で約12分
 ※駐車場は、普通自動車用28台、車いす用2台、乗降スペースは、大型バス用2台分があります。なお、にぎわい交流館いわつきの共用です。



特集 特別展「岡本玉水 人形芸術にかけた生涯 —御所人形から玉水人形へ—」

Contents
 特別展「岡本玉水 人形芸術にかけた生涯—御所人形から玉水人形へ—」/常設展 Close-up /イベント Information /学芸員の研究ノート第6回「未来へつなごう、にんばくコレクションへ保存・修復～」
 開館日カレンダー/これからの展覧会



特別展

「岡本玉水 人形芸術にかけた生涯—御所人形から玉水人形へ—」

2023年10月7日(土) — 12月3日(日) / 展示室3 ※11月7日(火)より一部展示作品が替わります。

岡本玉水(1898-1972)は、代々人形師の家系を継いだ4代目です。昭和3年(1928)には、平田郷陽(後の人間国宝)と共に、人形研究団体・白澤会を創立して人形の芸術的確立を目指した人形芸術運動をけん引し、第二次世界大戦後は日展の審査員も務めました。

玉水は御所人形の伝統技法を継承しつつも、新しい時代感覚を反映した独自の「玉水人形」の完成に向かって邁進し、歌舞伎や浮世絵など、古典を題材とした魅力あふれる人形を生み出しました。本展は、岡本玉水の全貌を明らかにする初めての展覧会です。作品を通してその生涯に迫ります。

《観覧料》

一般/400円(250円)、高校生・大学生・65歳以上/200円(150円)、小学生・中学生/150円(50円)
 ※()内は20名以上の団体料金。※障害者手帳をお持ちの方と、付き添いの方1名は半額になります。
 ※特別展の観覧券で常設展示室もご覧いただけます。
 ◎「着物で岩槻」割引：本展会期中、着物で岩槻人形博物館に来館すると、観覧料無料。
 ◎リピーター割引：本展会期中、本展観覧済の観覧券の提示で、団体料金(1枚につき1人1回)に限り有効。

《関連イベント》

1 講演会「宿命の人形づくり—岡本玉水の人形芸術」

講師：本橋浩介氏(佐倉市立美術館副主幹・学芸員) / 日時：11月5日(日) 午後2時～3時30分

2 スライドトーク「作品から見る岡本玉水の生涯」

日時：10月29日(日) 午後2時～(30分程度) / 講師：担当学芸員

3 学芸員による展示解説

日時：10月14日(土)、11月12日(日)、23日(木・祝) / いずれも午後2時～(30分程度)

※関連イベント1の申込方法等詳細は、展覧会チラシ及び当館ホームページをご覧ください。

※2は申込不要。当日会議室にお集まりください。3は申込不要、要観覧券。当日展示室前にお集まりください。



見どころ紹介 **ぜひ** を見てください!

御所人形だけじゃない?! 「玉水人形」の多様さ

一般的に御所人形の作家として知られる岡本玉水ですが、実は様々な種類の人形を制作しています。

まずは、この「紅絵売り」をご覧ください。総高70センチメートル(台含)を超える大作で、まるで絵から抜け出てきたような優美さです。御所人形の真逆とも取れるフォルムですが、実は玉水は、このようなすなりとした姿態の人形にも力を発揮しています。

続いて、大津絵を題材にした「狐と馬」。人物以外の作品は玉水としては珍しく、愛嬌のあるかわいらしい作品です。こちらには全体に和紙が貼られ、技法的にも新しい試みをしていたことが分かります。

そして最後は、ずんぐりとした量感あるフォルムの「桃太郎」!お顔のパーツも中心にぎゅっと集約され、何とも個性的な姿をしています。お供の犬・猿・雉も丁寧に作られ、それぞれの性格まで表現されているようです。

いかがでしょうか。ここに挙げたのはその一例で、まだまだ魅力的な作品がたくさんあります。ぜひ会場で、新たな「玉水人形」の世界に触れてください。



桃太郎 犬猿雉 昭和時代

狐と馬 昭和28年(1953)頃
【展示期間：11月7日～12月3日】

「紅絵売り」
昭和34年(1959)

常設展

Close-up

展示室2「コレクション展示 日本の人形」も定期的に展示替えを行っています。西澤笛歌コレクションをはじめとする約5,500点のなかから、季節や企画展・特別展などのテーマに合わせて、日本の人形を代表する名品や、希少品の数々を展示します。こちらもお見逃しなく。

平田郷陽 市松人形 女子

昭和時代初期
展示室2
2023年10月3日(火)～12月3日(日)

展示室2のウェルカムケースでは、特別展「岡本玉水」の開催に合わせて、玉水の盟友であり、人間国宝の平田郷陽作の市松人形を展示します。市松人形の最高峰と称される平田郷陽の市松人形の中でも65cmという比較的大きなサイズで貴重な作品です。当館初公開となります。



古今雛

江戸時代
展示室2
2024年1月23日(火)
～3月24日(日)

古今雛は18世紀後半に江戸で考案され、全国に流行した坐雛の様式です。控え目な袖の表現などから本作は京風と見られますが、目にはガラス目と呼ばれる江戸で生まれた技法が用いられており、東西の特徴が融合した作品となっています。美しさに加えて資料性も高い逸品です。



イベント

Information

1 つくろう、ポチ袋～天神様ゆかりのウソドリ編～

日時：2023年12月3日(日) 午前10時～12時
会場：当館会議室 定員：16名
対象：小学5年生以上 参加費：200円
応募締切：10月31日(火)



ポチ袋

2 つくろう、おひなさま～ふじ雛の絵付け体験～

日時：2024年2月11日(日・祝) 午前10時～12時
会場：当館会議室 定員：16名
対象：小学3年生以上 参加費：400円
応募締切：1月16日(火)



おひなさま

【申込方法】

A：往復はがき ①参加希望イベント名、②参加者氏名(ふりがな)、③郵便番号・住所、④電話番号を明記のうえ、当館までお送りください。小・中学生の場合は、⑤学年、⑥保護者氏名(ふりがな)をご記入ください。
 ※締切日の消印有効。※往復はがきは1枚につき1イベントずつご応募ください。
 B：WEB 「さいたま市生涯学習情報システム」よりご応募ください。
 ※WEBは締切当日の午後11時59分まで。
 ★応募者多数の場合は抽選。各イベントにつき応募は1回のみ。複数応募は無効。

さいたま国際芸術祭2023

さいたま国際芸術祭2023市民プロジェクト「アーツさいたま・きたまち」において、当館を会場としたプログラムが実施されます。
【展覧会プログラム】 10月7日(土)～25日(水)
 「さいたま市文化施設 味変企画〈市内文化施設に現代アートのスパイスを〉」
 当館にて「人形」を題材にアーティストの角文平氏、市川平氏が現代アート作品の新作を展示します。

【イベントプログラム】

- ① CART-SAITAMA 2023
当館とステラタウンを結ぶ道を複数の作家が手掛けるアートカーで走行します。
- ② さいたまアーティスト・イン・レジデンスプログラム(岩槻プログラム)
岩槻区のアートスペース「space845」で滞在制作を行ったアーティストたちが当館で作品を発表します。

実施日程等、詳しくは、WEBをご確認ください。
<https://artsaitama.jp>



【問い合わせ先】 さいたま国際芸術祭実行委員会事務局
 (公益財団法人さいたま市文化振興事業団 国際芸術祭推進課内)
 〒336-0024 さいたま市南区根岸1-7-1 TEL：048-767-5411(火～土 9:00-17:00)
 FAX：048-767-5351 E-mail：arts-festival@saitama-culture.jp

第6回 学芸員の研究ノート

未来へつなごう、にんぱくコレクション ～保存・修復～

にんぱくの資料は、江戸時代から昭和初期頃までに作られたものが多く、木や胡粉、和紙、絹など様々な素材からできていてデリケート。経年劣化が進んでいるものも多く見られます。

そこで当館では、東京文化財研究所や他の博物館などで経験を積んだ文化財修復技術者に依頼し、修復事業を実施しています。開館準備期間の2009年にスタートしたこの事業は、今年で15年目になりました。

「文化財修復」とは、現状維持を基本としてオリジナルの情報をできるだけ変えずに後世に伝えることです。当館では、①安全に扱える状態にする、②必要以上のクリーニングを行わない、③補修部分は判別できるようにし、欠損部に根拠なく新しいものを付け替えない、④将来的な修理方法の進展を見据え、可逆性のある接着剤を使用する、⑤処置の記録をまとめた報告書を作成することを大切にして、打合せを密にしながら事業を進めます。

保存環境もまた考慮すべきところで、温湿度、光、ほこり、虫、カビ、酸性化には十分気を付けなければなりません。元の木

箱が小さすぎたり、木箱自体が劣化している場合は、安全に保存できる中性紙箱に入れ替えます。包材なども、直接資料に接触しても化学反応を起こさないようなものを使用しています。資料の劣化を最小限に抑えるため、温湿度が一定に整った収蔵庫で管理しています。理想の保存環境に近づくよう、日々試行錯誤しています。

資料を守り、次の世代へ継承することも、博物館の大事な役割のひとつなのです。(学芸員 平井美江)



御所人形 鶏合(顔部分) 左：処置前 右：処置後
 ※修復箇所とオリジナル部分の判別ができ、かつ目立たなくなるように処置する。